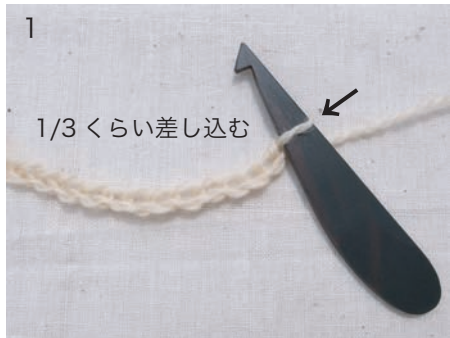


《レーナのかぎ針で編んでみよう》

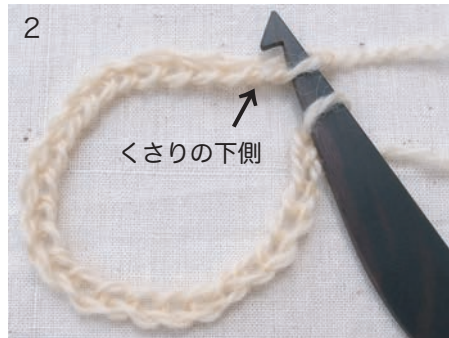
スウェーデンのレーナさんが教えてくれた伝統的な編み物です。「ボスニアンクロシェット」といいます。シンプルなので慣れば簡単。まずはリストウォーマーで基本の編み方を説明します。

●ポイント

- ・慣れないうちは編み目がきつくなりやすいので、ゆるく編むことを意識しましょう。しずく型の針の形を利用して、しっかり差し込み目を大きくすることがゆるく編むコツです。
- ・糸は張らずに軽く右手の指に持っておきます。
- ・針は編み目にまっすぐ差し込みまっすぐ抜くだけ。ひねらないように気をつけましょう。



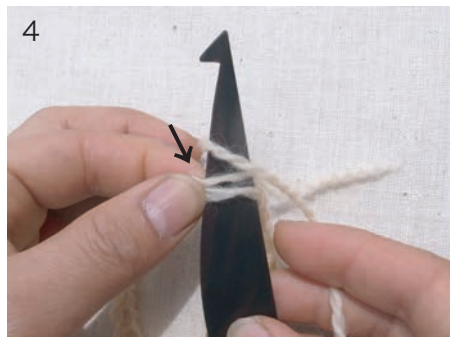
くさり編みで作り目をします。針を中程まで差し込みながら、大きめに作ります。
(並太程度の糸で30目前後。糸の太さなどにより加減してください)



くさり目がねじれないように輪にして、最初の目の下側に針を差し込みます。



針を中程まで差し込み、右手に持った糸を後ろから前にまわして針にかけます。(写真はかけた後の状態)



2つのループがずれないように、左手の親指でつまっておきます。右手で針の下の方を持ち、かけた糸をまっすぐ下に引き抜きます。



1目編むとくさり目の輪がねじれるような形になっています。2目めからはくさりの上側(ひっくり返っているので実際は下側)を取っていきます。



1段編めました。これを何段かぐるぐると繰り返します。(らせん状に進んでいくので、立ち上がり目はありません)



適当な段数編んだら、今度はくさりの下側を取っていきます。



下側を取るとこんな風に編み地が変わります。ふたつの編み地を好きなように組み合わせて編んでみましょう。



糸の色や編み地を数目おきに変えてみてもおもしろいですよ！



紡ぎ車と世界の原毛

アナンダ